

区 分	事 項 名	部 名
参考資料	高品質特殊鶏肉(卵鶏・キジ・冷玉)の生産性	中小家畜部
1、	背景とねらい 地場食品産業の必要性は 諸々の角度から検討されている。 地域的料理材料として利用をはかることをねらいに「うまい肉用鶏」 (俵杯 岩手地鶏)の作出を試み、その生産性について検討したので 参考に供する。 2. 参考とする内容 1) 鶏種 名古屋系: ♂名古屋×♀(兼用種2元) シメ系: ♂シメ×♀(兼用種2元) 2) 増体・飼料効率 16週齢(112日齢)まで飼養し、体重は名古屋系1915.7g, シメ系 2076.0gで利用に十分なものであった。 飼料効率(16週齢まで)は、名古屋系3.87, シメ系3.33であった。 3) 肉質・うまみ 官能テストへの参加者と多数得られず、統計的判断はできなかった。 肉質はしりばり、ブロイラーに比べ適度な硬さがあった。うまみは 肉そのものも「うまい」という評価が得られたが、特に鍋もののだしの研 料としては、ブロイラーと寄せつけない高い評価が得られた。 4) 生産性 生産原価は名古屋系 463円/羽, シメ系 415円/羽となり、1羽当り の収益は、名古屋系 341円, シメ系 477円となった。(注2の算定方法)	

3. 指導上の留意事項

1) 使用した飼料

飼付から 5週齢: 採卵鶏用育すう前期飼料 (CP18%, ME2800 kcal/kg)
 5週齢から 16週齢: ブロイラー用後期飼料 (CP18%, ME3080 kcal/kg)

2) 飼養管理

育すう時は、電熱バトリー育すう器を用い、5週齢以後は開放型
 平飼い鶏舎を使用した。

4. 試験成績の概要

名古屋系とシメ系の生産性 (雄雌平均、1羽当り)

区分	出房週齢	体重(g)	飼料摂取量(g)	飼料効率	生産原価 ¹⁾ (円)	収支差額 ²⁾ (円)
名古屋系	16	1915.7	7405.2	3.87	463	341
シメ系	16	2076.0	6922.5	3.33	415	477

注1) 1kg当りの生産原価 = (ウナ代 + 飼料費 + 諸経費) / 生体重

ウナ代: 名古屋系 シメ系共 100円/羽

飼料価格: 育すう前期 25円/kg

ブロイラー後期 24円/kg

諸経費(77カン, 光熱費等): 86円/羽

注2) 1羽当りの収支差額 = (1kg当りの販売価格 - 1kg当りの生産原価) × 生体重

1kg当りの販売価格: 名古屋系 シメ系共 600円

5. 当該事項にかかる試験研究課題名

寒冷地の飼養管理技術の確立

—— 高品質特殊鶏肉(卵鶏・キジ・冷玉)の生産技術の確立 ——

6. 参考文献

(1) 奈良県畜産試験場 試験研究成績報告書 99号

(2) 秋田県畜産試験場 試験研究成績報告書 昭和51, 52年度